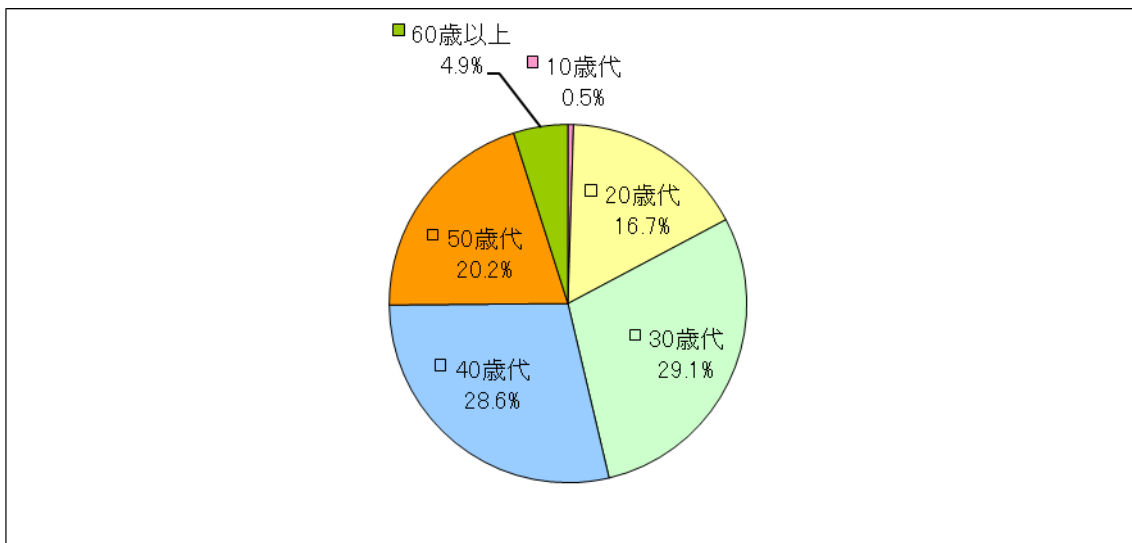


定額給付金等に関する影響調査結果について

- 1、目的 景気対策のための補正予算が成立した。そこで、消費行動に直結する定額給付金や高速道路の利用料金の値下げによる影響を把握する。
- 2、調査期間 平成 21 年 3 月 9 日（月）～13 日（金）
- 3、調査対象 福井市内に勤務する女性 330 人
- 4、調査方法 FAX による調査
- 5、回収 203 人 61.5%
- 6、調査結果の概要

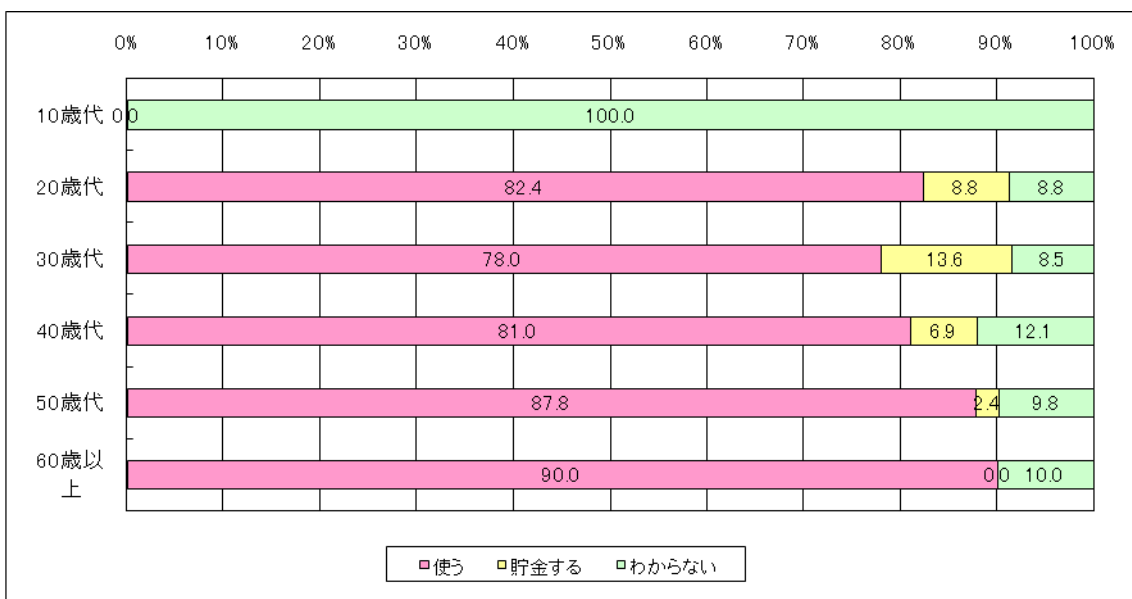
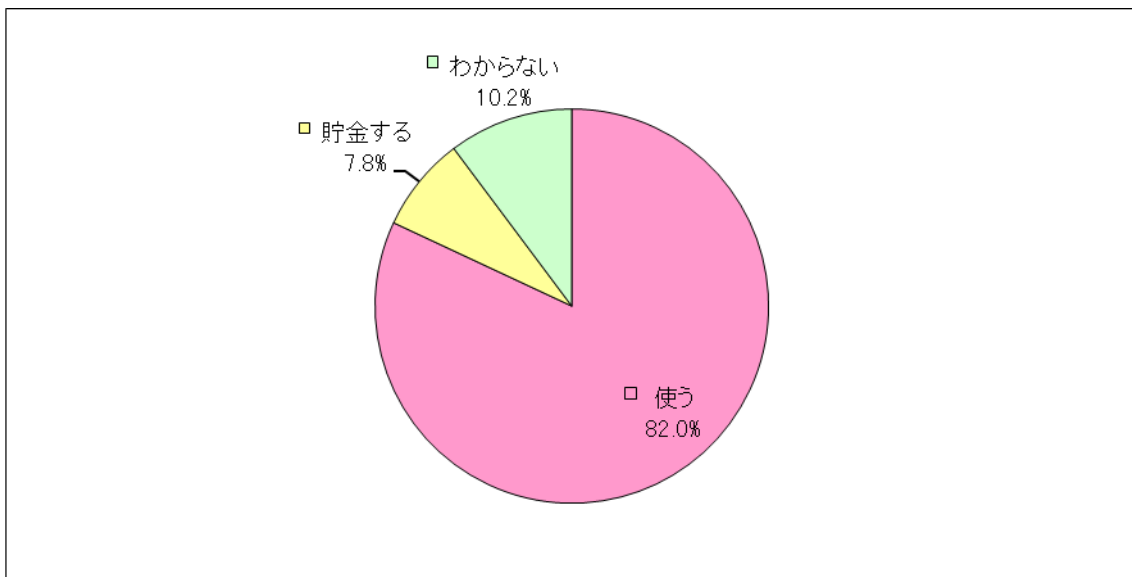
回答者の属性（年代別）



定額給付金について

(1) 定額給付金は82%が使う。

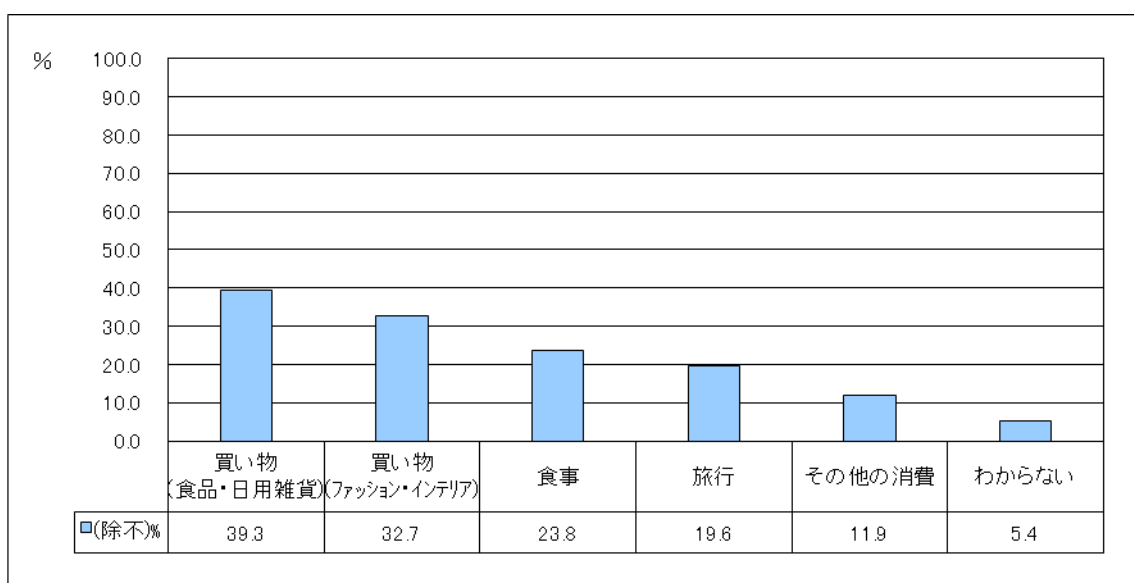
定額給付金については、「貯金する」7.8%「わからない」10.2%見受けられるが、「使う」が82%と多くの方が定額給付金を使うと答えている。

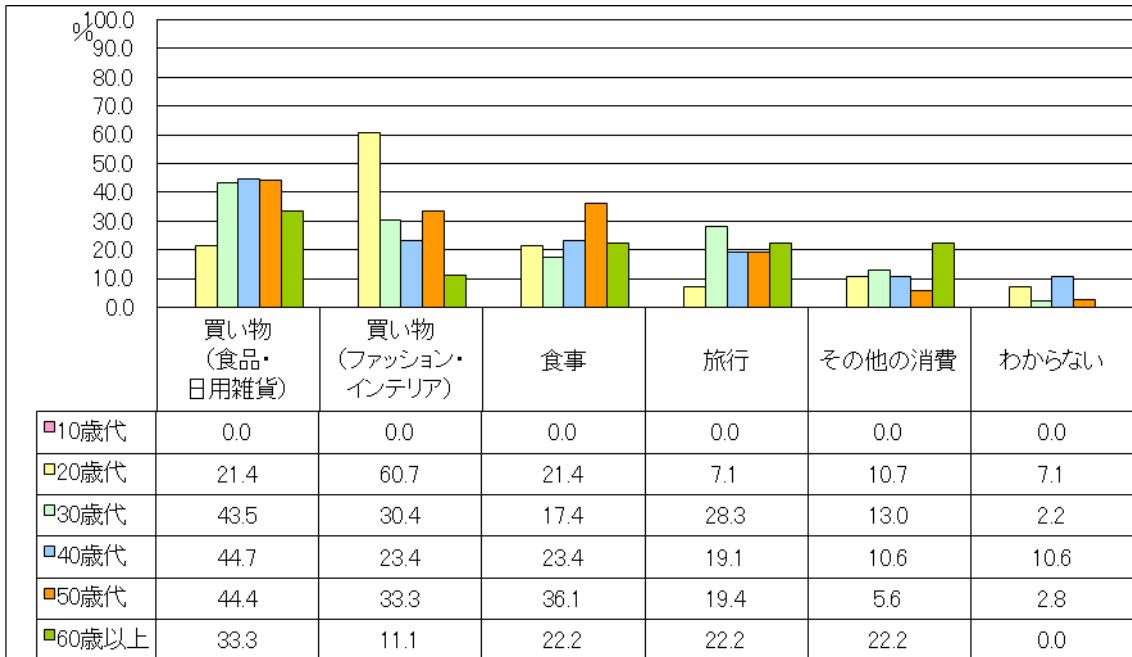


(2) 定額給付金の使い方は買い物が一番で、給付金は4回以内で使う(消費)。

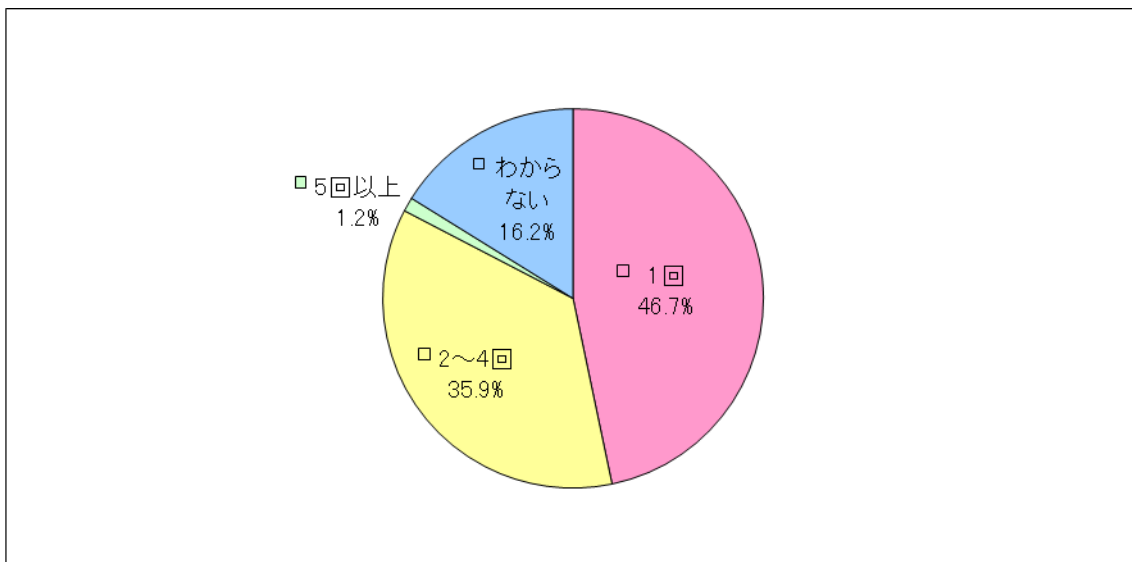
その使い方については、「日用品等の買物」39.3%、「ファッション・インテリア等の買物」32.7%「食事」23.8%の順となっており、生活支援・景気対策の両面の使い方が見受けられる。

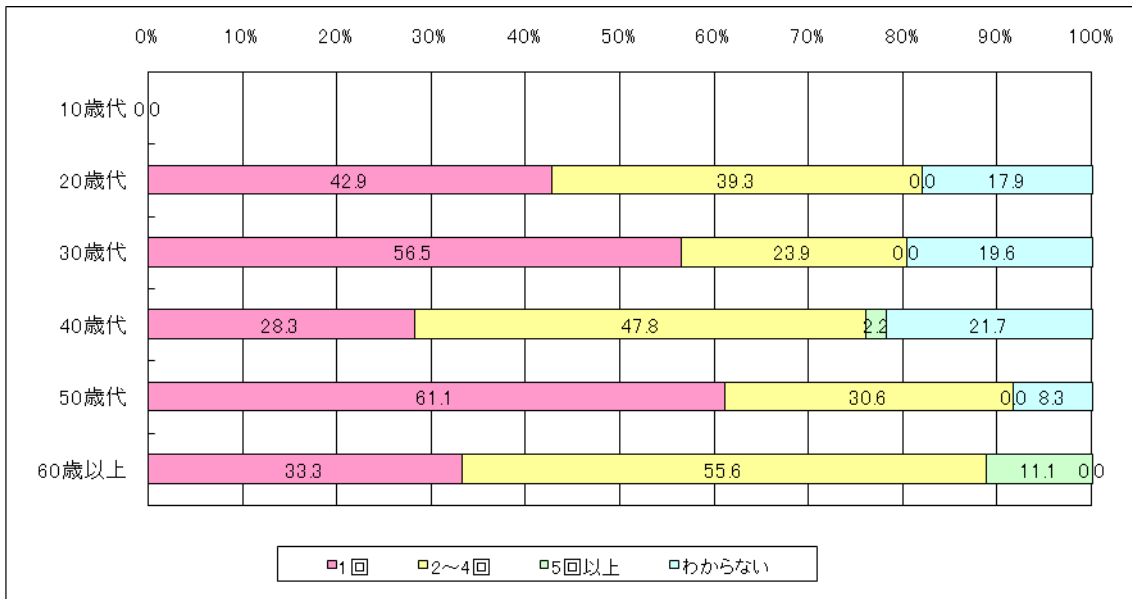
年代別にみると、30歳代以上では「日用品等の買物」が一番にあげられているが、20歳代では「ファッション・インテリア等の買物」が一番になっている。また、50歳代では、2番目に「食事」が挙げられているのも特徴である。





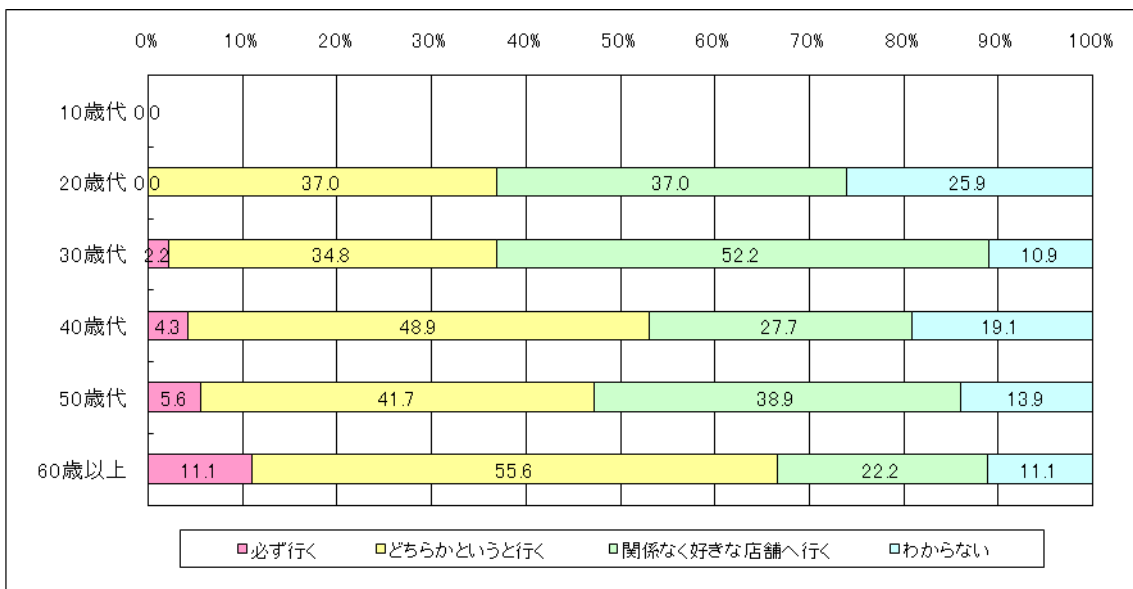
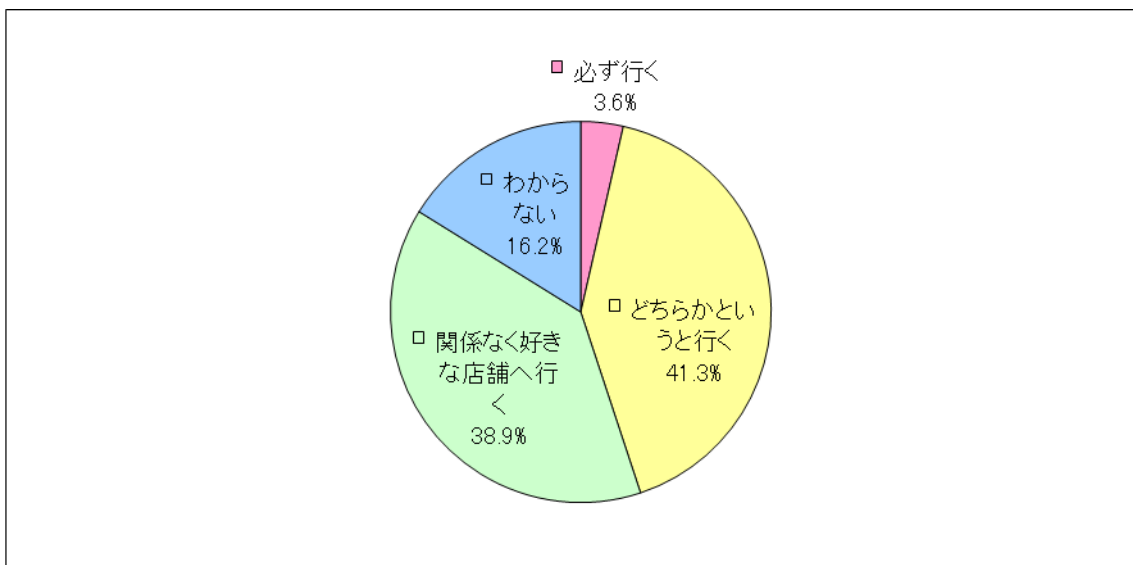
また、給付金 12,000 円は「1 回」で使うのが 46.7%と最も多く、次いで、「2～4 回」が 35.9%となっている。年代別でみると、「1 回」で使うのは、50 歳代が 61.1%と最も高く、次いで 30 歳代 56.5%と続く。



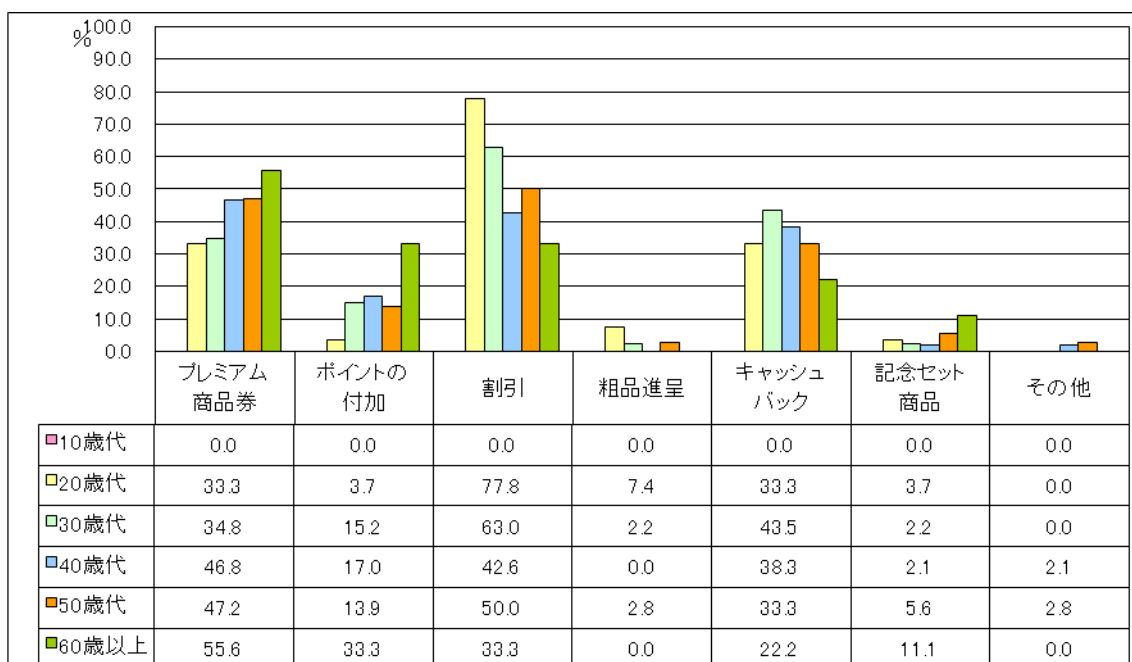
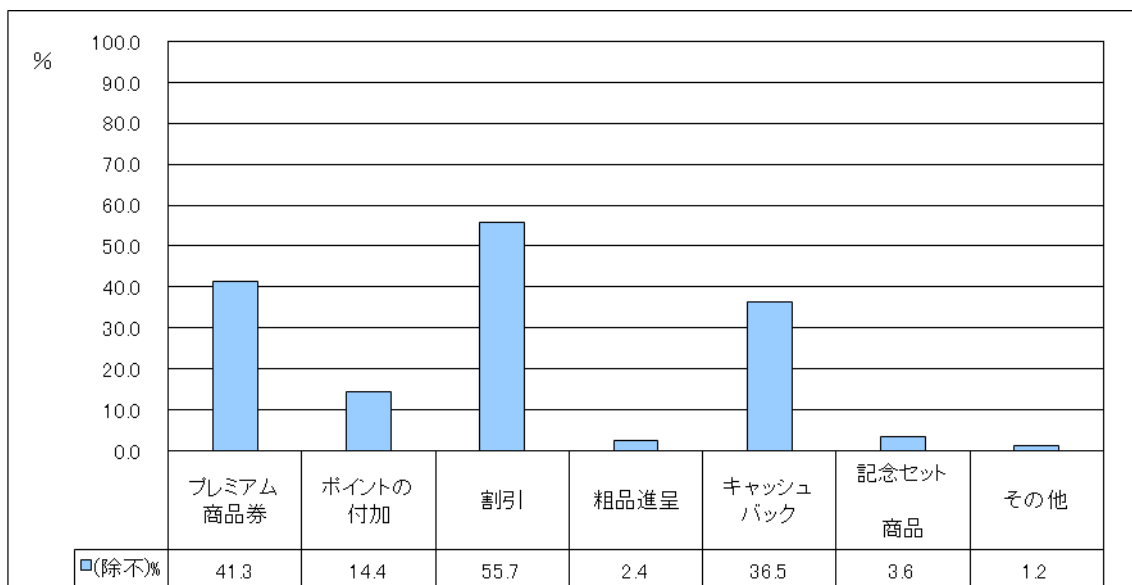


(3) 定額給付金キャンペーン実施店には 44.9%が行き、割引やプレミアム商品券、キャッシュバックに期待。

定額給付金をターゲットとしたキャンペーンが各地域や店舗等で実施されるが、給付金を使用するとき、キャンペーン実施店には「必ず行く」3.6%、「どちらかというに行く」41.3%と約半数がキャンペーン実施店での消費を考えているが、「関係なく好きな店へ行く」は38.9%となっている。年代別でみると、40歳代以上でキャンペーン実施店へ行く割合が高くなる傾向にある。

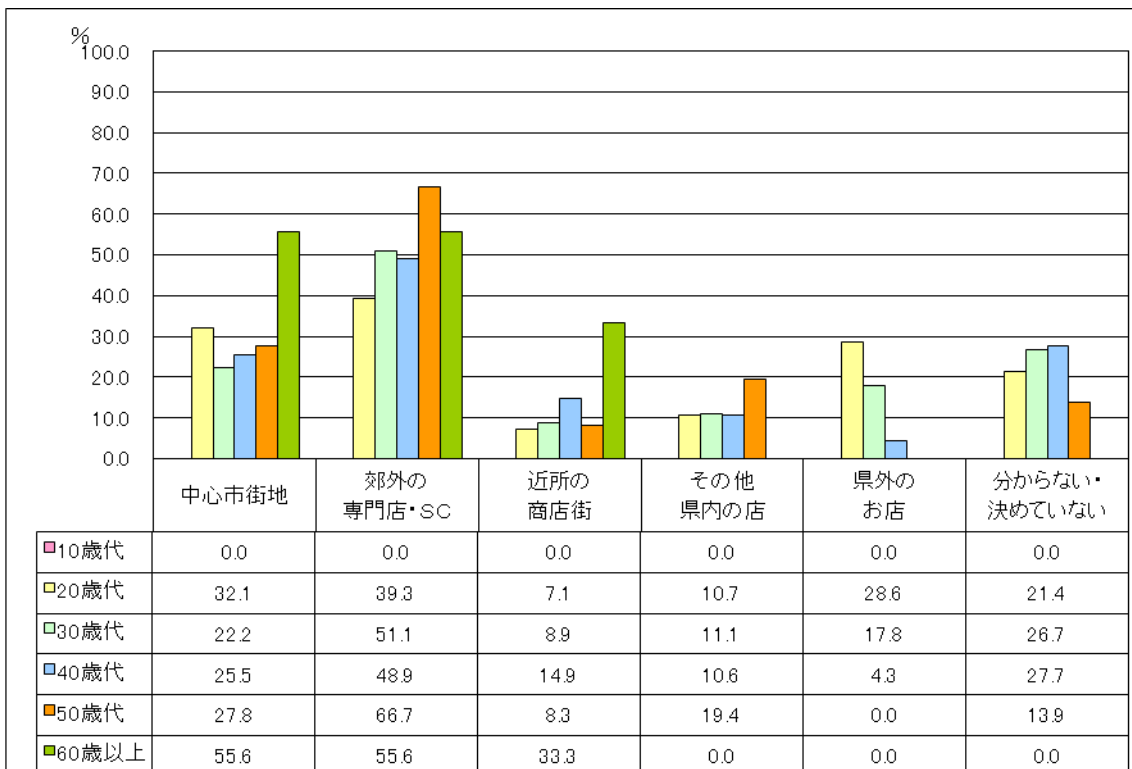
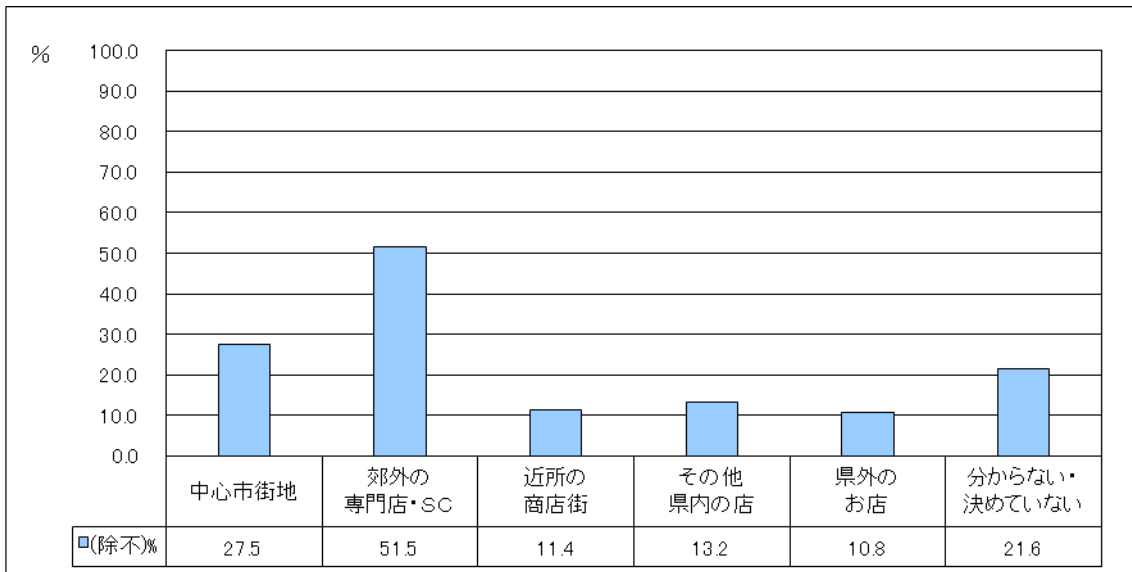


また、期待されるキャンペーンとしては、「割引」55.7%「プレミアム商品券」41.3%「キャッシュバック」36.5%の順となっている。年代別にみると、「割引」は20～30歳代で、「プレミアム商品券」は40～60歳代で、「キャッシュバック」は20～50歳代で期待が高くなっている。



(4) 定額給付金は約半数が郊外の店舗で消費。

定額給付金を使う場所としては、「郊外のSC・専門店」が51.5%と最も多く、次いで「中心市街地」が27.5%となっており、「県外」も10.8%見られた。年代別では、「郊外のSC・専門店」はどの年代でも最も高くなっている。「中心市街地」は20歳代と60歳代が高く、「近所の商店街」は60歳代、「県外」は20～30歳代が高くなっている。

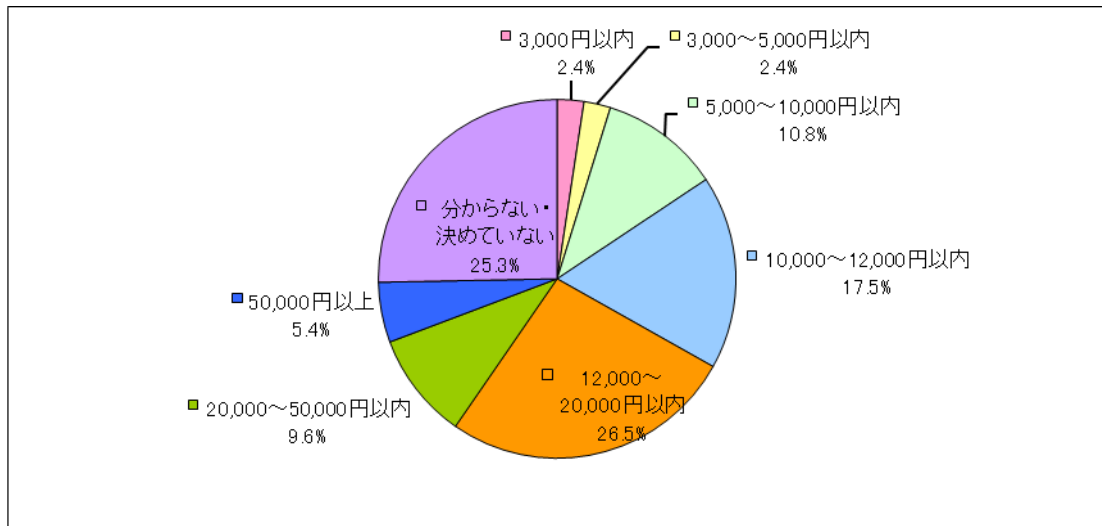


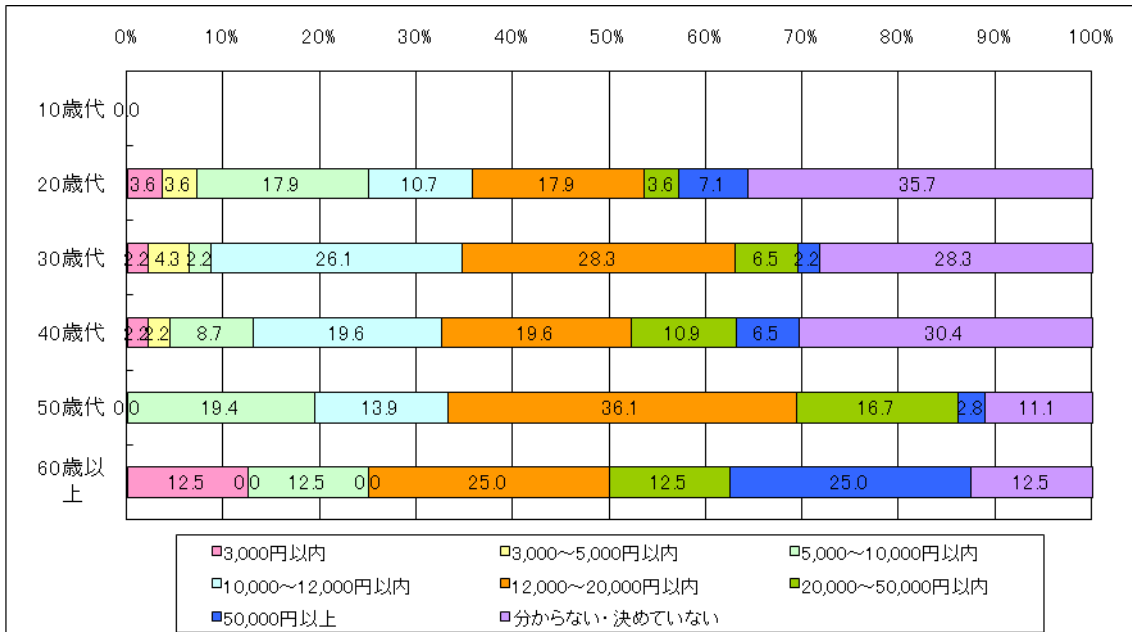
(5) 定額給付金に上乗せして使うのは 41.5%、給付金内の消費は 33, 1%。

定額給付金に併せた消費額は、「12,000～20,000 円以内」が 26.5%と最も多くなっている。給付金に併せた支出は「わからない・決めていない」も 25.3%あるが、上乗せして使うのは「20,000～50,000 円以内」9.6%、「50,000 円以上」5.4%となっている。

逆に、給付金内の消費としては「10,000～12,000 円以内」が 17.5%、「5,000～10,000 円以内」10.8%「3,000～5,000 円以内」「3,000 円以内」が各 2.4%となっている。

年代別にみると、消費金額を決めていないのは 20 歳代～40 歳代で高くなっている。60 歳代では 50,000 以上の高額消費も高いが、3,000 円以内の消費も高くなっているのは消費予定がある程度決まっているためと思われる。

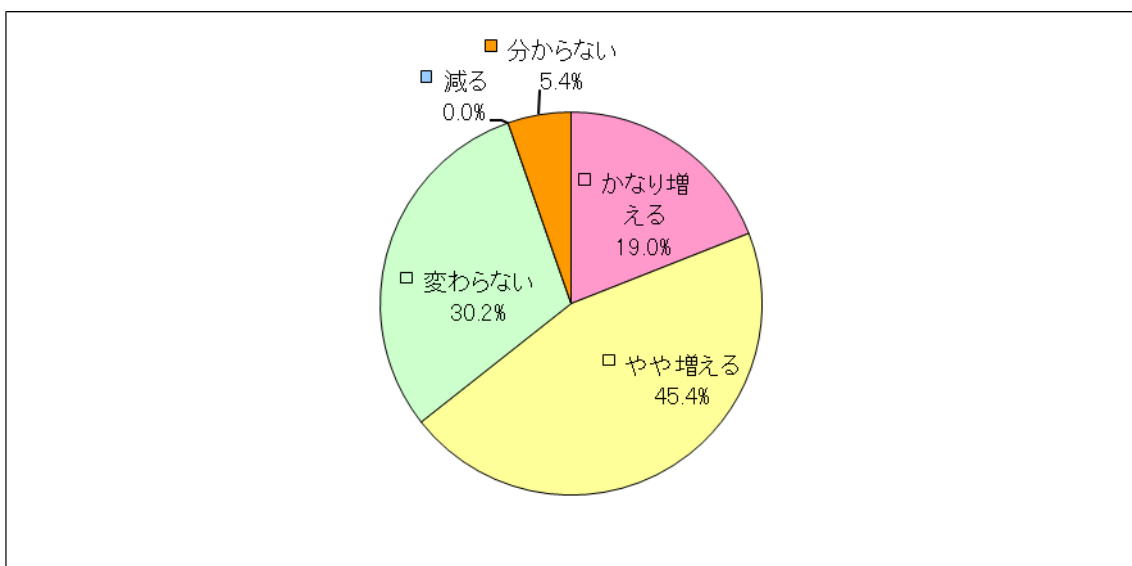


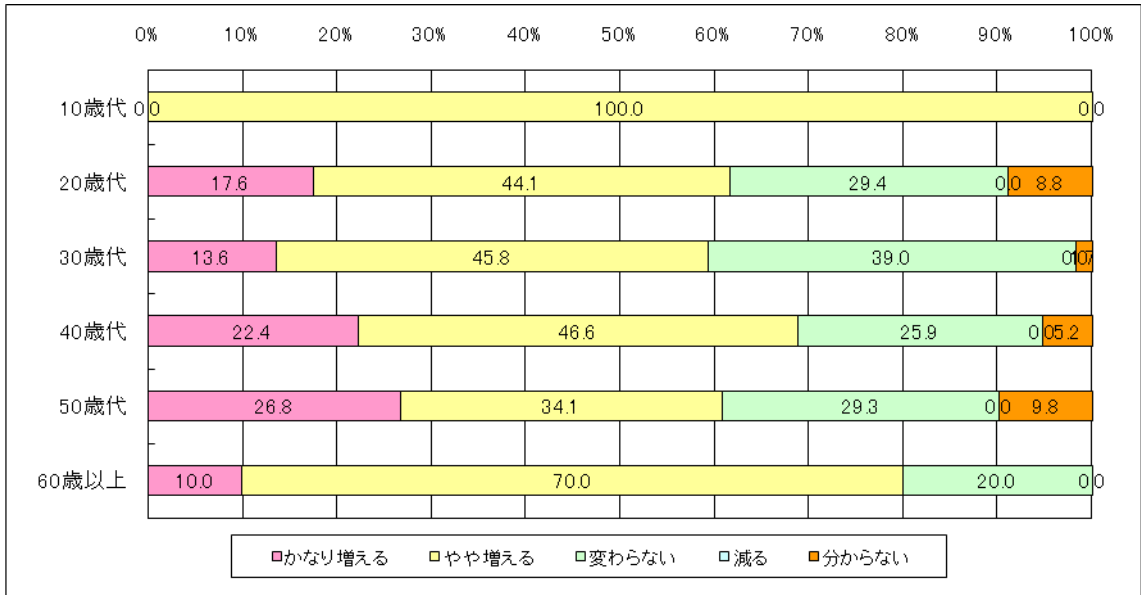


高速道路利用料金の値下げについて

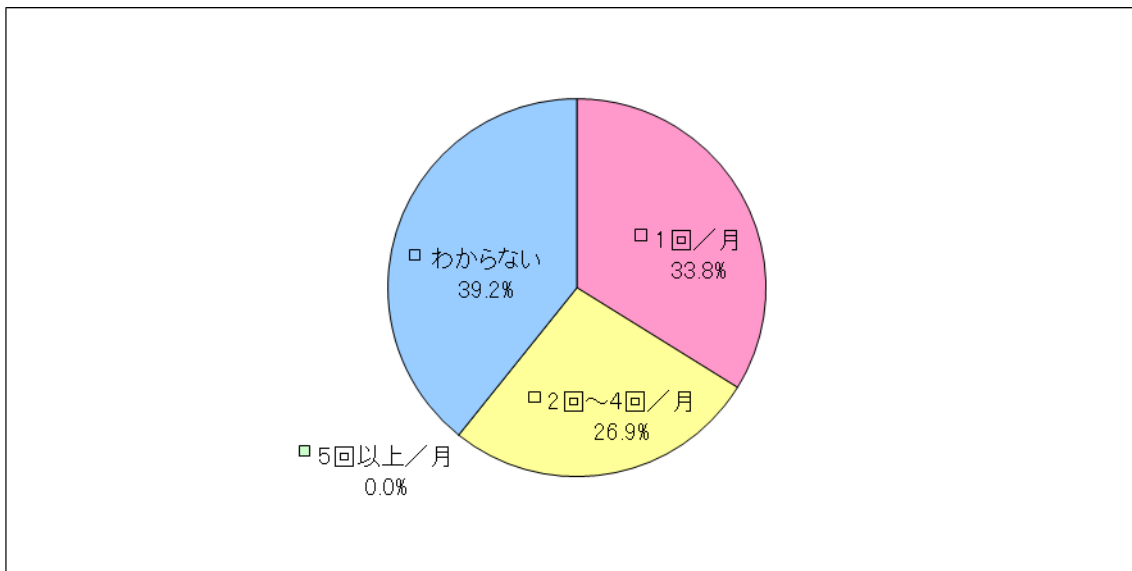
(6) 値下げ後の休日の高速道路の利用は 64.4%で増加。

今回の値下げにより、高速道路の利用は「変わらない」も 30.2%あるが、「かなり増える」19.0%、「やや増える」45.4%、「減る」は 0%となっており、高速道路を利用した行動は広がるものと思われる。年代別では 40~60 歳代で活発な利用が見込まれる。





また、利用頻度としては、「わからない」が 39.2%あるが、「1回/月」33.8%
「2回～4回/月」26.9%となっている。



(7) 4月～5月中の高速道路を利用して県外へショッピングや観光・レジャーに約55%が出かける。

高速道路を利用した外出は「出かける」54.6%、「出かける」17%となっている。4月末から大型連休もあることから、ショッピングや観光・レジャー目的で出かけ、その行先は「金沢市」39.6%「京都府」32.1%「愛知県」27.4%の順となっている。

年代別にみると、20～30歳代はショッピング目的で、30歳代ではレジャー目的の利用が高くなっている。

